

第 29 回戦争展報告



参加者は 1,100 名 : 注目され関心を広げた展示と催し

8月20,21日 第29回豊田市戦争展が豊田産業文化センターで開催されました。今回は4月に実施した第16回平和リレー講座の高橋地域と松平地域への現地調査の成果として矢並町にあった陸軍弾薬庫群跡、広川町の8名死亡した被害。B29墜落地などを紹介、これまでの各地域での展示と合わせて見ていただきました。

また「原爆の恐怖がトヨタ工場に」と証言された終戦前日のトヨタ爆撃について引き続き今回も展示し関心を高めました。米空軍資料、故豊田英二さん関係の証言、トヨタ工場周辺の関係者証言、模擬原爆の破片などは新たな展示は見学者に衝撃を与えました。さらに展示でアジアへの侵略戦争と中国での残酷で非人間的な戦争の実態、また沖縄へ新たな基地などの押し付けに対する激しい現地の闘いの紹介、核兵器なくせと全国での取り組み、憲法9条を守れの運動等を見ていただきました。

そしてこの戦争展運動を進めてきた豊田市内の平和をつくる市民パワーを各団体から展示し、草の根の力強い活動の広がり伝えることができました。

特別企画としての戦争体験を聞く会は5名の方の、生々しい証言に耳を傾けました。岩本馨さん(桑田和町)は「次世代に伝えたい戦争体験と平和の尊さ」天野克之さん(矢並町)は「矢並一帯が弾薬庫」上野茂男さん(双美町)は「東京下町での空襲をくぐり抜けて」永田暉さん(小坂町)は「少国民の戦争体験」仲條幸満さん(宮口町)は「満州での体験ー親切な中国の方に助けられて」が証言されました。また文書で村山治枝さん(御立町)は広川町爆撃の目撃談を寄せられました。これらの戦争体験者の証言は平和にとって宝物であり語り継いでいきましょう。

特別講演として「愛知の兵器づくり」と題して矢野創・平和委員会事務局長が講演しました。軍需産業の危険な実態が紹介され「この事実を周囲に伝えなくては」との思いを強くしました。

同時開催の企画では、親と子の平和のつどいの企画で平和コンサート(童謡・ピアノ・オカリナ演奏)、アニメ上映会(「つるにのって」「はだしのゲン」)、小学生にもわかる戦争のお話・紙芝居など多彩な企画が喜ばれお子様連れの参加者が多くありました。

催しと展示についてアンケート用紙に小学生から高齢者まで100名以上に記入をいただきました。「よく調査されて」「29回ですか」「孫にも見せたかった」「トヨタ爆撃初めて知った」「70年前の生々しい話を聞いて感動」「オカリナ、ピアノ、歌とてもステキ」「もっと戦争について知らなくては」などの感想が寄せられました。

ご協力いただいたすべての皆さんに心からの感謝を申し上げてご報告とします。